

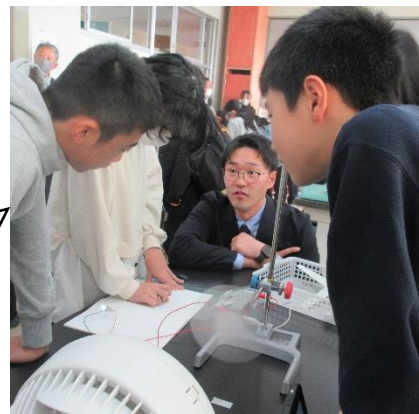
## イノベーション人材育成授業研修会（小学校理科）

郷ヶ丘小学校での授業研修会と、スーパーサイエンス講座の様子を紹介します。

開催日：令和7年11月21日（金）  
12月8日（月）  
会場校：郷ヶ丘小学校

### 【問いをもち、追求する】

6年「電気と私たちの暮らし」の授業。イノベ教員の赤塚広大教諭の指導の下、子どもたちは「風力発電で発電量を増やすためにはどうすればよいか」を、この時間は羽の長さを変えて実験します。子どもたちは「客観性は」「条件制御は」など、これまでの理科の学習で身につけた言葉を用いながら進めます。



### 【思いは、まなざしに】

各班の実験結果から得られたデータを、皆で確認しています。グラフ作成ソフトを用いて、入力や比較が効率よくできました。そのため、予想と結果を比較したり、結果から分かる、より妥当な考えを検討したりする時間が十分確保されながら学びが進んでいきます。



### 【学び続ける】

12月8日には、福島高専准教授の橋本慎也先生をお招きして再生可能エネルギーとソーラーカー作りの学習を行いました。橋本先生は子どもたちに「今日の学習はスタート。これからもぜひ、繰り返し学び、たくさんエネルギーについて知り、考えていってください」と話されていました。

### 【自己調整学習】

岩手大学准教授の久坂哲也先生に指導助言と講演をしていただきました。学習者が認知、メタ認知、動機づけにおいて自分自身の学習過程に関与する学習のことを「自己調整学習」といいます。メタ認知を促す指導によって、どの学力層でも学力の向上が期待できるとされており、「誰一人取り残さない学び」が本時でも展開されていました。また、本時の課題（～は、～だろうか）についても、6つの類型があり、理科以外の授業でも意識することが大切であると教えていただきました。

